



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



身に付けたい「自然な振る舞い」 & 「〇〇の秋」
 -Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) -

今日は9月27日。8月27日から2学期が始まりましたので、ちょうど1カ月です。朝夕めっきり涼しくなってきました。あっという間に、月日は流れ、今週の木曜日で9月が終わり、金曜日からは10月が始まります。

さて、先週、朝毎日チェックしていたことがあります。何だと思われま
 すか。それは、子供達の「靴箱」です。中番小学校の児童が**身に付けたい7つの習慣「あしへそはいこ」**の「は：履物揃え」について様子を見ておりました。嬉しいことに多くの子供達は意識しているのか、きちんと入れていました。中には乱雑な子供もいますので、「靴の入れ方、大丈夫？」と尋ねると、そっと直す子供の姿がそこにありました。意識するとやはり違いますね。以前、紹介しました福井県永平寺のトイレに張ってあったという「**そろえても そろえてもまた そろえても 乱れる下駄を たれかそろえん**」。実際、子供達が使うトイレのスリッパは、なかなか揃えられていることは少ないものです。履き捨てるように乱雑であることも珍しくありません。揃えても、揃えても乱れてしまいます。でも、反対にきちんと揃えてくれる子供の姿を見るのもこれもまた真実です。トイレの掃除をしている子供達は、掃除の終わりにはきちんと並べて掃除を終えています。「たれかそろえん」。どんなに履物が乱れていても、自分の手で揃えてくれる誰かが子供達の中にはいます。本当にえらいなあと思います。自分が履くとき、履物が乱れていても、自分が使い、その場を離れる時は揃えて行く。この繰り返しなのだと思います。子供達には、履物を揃えることを誰かに言われることなく、本当に自分の仕草の一部のように、自然に振る舞うことが出来るようになって欲しいと願っています。前の学校でこんなことがありました。1年生で担任した子供と3年後、たまたま児童昇降口の靴

箱で出会いました。両手で靴を持ち、踵を揃えて靴箱に入れている姿を見ました。「覚えてるん?」「はい。」「えらいなあ。」そんな会話を思い出します。「履物に無関心であってはならない。」この戒めは、子供達だけでなく私達大人にとっても常に心に留めておきたい大切なことだと思います。

9月23日は秋分の日でした。「暑さ寒さも彼岸まで」(冬の寒さも春の彼岸【春分】の頃まで、夏の暑さも秋の彼岸【秋分】の頃までには和らぎ、しのぎやすくなることを表す慣用句です。)の言葉通り、過ごしやすく気持ちがいい季節がやってきましたね。子供達には「〇〇の秋」を元気いっぱい楽しんで欲しいと思っています。保護者の皆様はどんな「〇〇の秋」をイメージされるのでしょうか。今、全校生で取り組んでいる **NLP (NAKABAN LEARNING PROJECT)** は「**学びの秋**」、10月の終わりには**運動会で「スポーツの秋**」、運動する為には**いっぱい食べる「食欲の秋**」、**秋の夜長はやっぱり「読書の秋**」でしょうか。秋の夜と言えば、先週の9月21日は「中秋の名月」でした。月の満ち欠けによる呼び名、たくさんあるんですね。「新月(しんげつ)」「二日月(ふつかづき)」「三日月(みかづき)」「弓張月(ゆみはりつき)」「十三夜(じゅうさんや)」「待宵(まつよい)」「望月(もちづき)」「十六夜(いざよい)」「立待月(たちまちづき)」「居待月(いまちづき)」「臥待月(ふしまちづき)」「更待月(ふけまちづき)」。気温が下がり空気も澄んでくる季節、今夜はどんな月か、思いを馳せながら読書するのもいいかもしれませんね。**読書は「学びの基本」**です。緊急事態宣言解除の方向が報じられていますが、油断せず、引き続き、「**恐れず、正しく、適切に**」対応し、**感染症対策(朝の検温、マスクの着用【不織布のマスクが強く推奨されています。】、手洗い、手指の消毒、3密回避等)を徹底**します。保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症についてご心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。